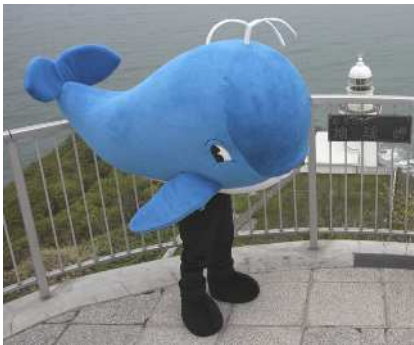


# 室蘭市マスコット 「くじらん」の誕生

平成元年の「ふるさと創生 1 億円事業」の一環として、室蘭のマスコットとシンボルカラーを募集しました。

市民投票を経て、平成 3 年にマスコットにはサッカーボールと波を組み合わせたクジラ、シンボルカラーには、海洋・科学技術都市を目指す海に囲まれた室蘭にふさわしいマリンドブルーが決められました。魅力あるまちづくりと活力と希望にあふれた新しい室蘭をアピールするために誕生したマスコットの名前を公募し、「くじら」と「むろらん」を組み合わせた「くじらん」に決められました。

平成 22 年には誕生から 20 年目を迎え、記念に「着ぐるみくじらん」も登場しました。



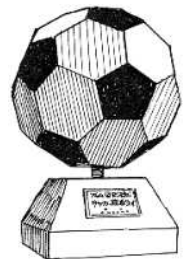
## クジラ

マスコットとしてクジラの応募が多かったのは、噴火湾では昔から多くのクジラが見られた記述があることや身近にクジラの登場するアイヌ伝説、クジラと似ていることから「くじら半島」と呼ばれている地名があることなどもあげられます。また、クジラウォッチングも観光として行われ、クジラは市民の身近な生き物として親しみやすかったからなのでしょう。

## サッカーボール

本市は、昭和 57 年に「生涯スポーツのまちづくり」を誓い、スポーツ都市宣言をしました。スポーツの盛んな都市を象徴するにふさわしいサッカーボールですが、サッカーは高校チームの活躍により 室蘭に浸透していきました。市内の高校を始めとした多くのチームが全国大会を経験し、室蘭出身のプロ選手も誕生しています。現在は、キッズからシニアまで数多くのチームがあり、競技人口も厚く室蘭を代表するスポーツとなっています。

平成元年のはまなす国体では、サッカー競技がこの地で行われ、当時建設されたばかりの入江運動公園陸上競技場が会場となりました。また、プロサッカーチームの夏季トレーニングキャンプも行われています。



## まちで活躍する「くじらん」を探してみよう

- ・ 道南バスの待合所
- ・ マンホールのふた
- ・ くじらん焼き(たいやき)
- ・ 入江運動公園温水プールの児童用プール
- ・ 市役所本庁舎のてっぺん
- ・ 青少年科学館のシャッター

などなど、みなさんの身近なところでも使われているかもしれませんね。



カントリーサイン  
「まちとまちの境に  
ぼくがいるよ」





## ふるさと室蘭ガイドブック

発行日 平成28年12月  
編集 室蘭市総務部広報課  
ペン画 故寺地憲一氏  
発行 室蘭市総務部広報課  
〒051-8511 室蘭市幸町1番2号  
電話 0143 - 25 - 2193